

## 令和5年度 国語科 「言語文化」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	理数科 1年H組
教科書	言語文化（大修館書店）	副教材等	「イラストとシーンでおぼえるLook@古文単語」（京都書房）、 「完全マスター古典文法」「完全マスター古典文法 準拠ノート実力養成」（第一学習社）「精選漢文」「精選漢文ノート」（尚文出版）、「新訂総合国語便覧」（第一学習社）

## 1 学習の到達目標

- （１）生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- （２）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- （３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

## 2 学習の計画

学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
前期	4	古典の世界に親しみ、古典を読むために必要な文語の決まりを理解している。	古典の世界に親しみ、古典を読むために必要な文語の決まりを理解する。	宇治拾遺物語 「児のそら寝」 「絵仏師良秀」	・歴史的仮名遣いや用言の活用など文語文法の基礎を身につける。	行動の観察
	5	文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。	文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。	「羅生門」 芥川龍之介	〈言語活動〉 他の作品と比較して、構成・表現上の違いから作者の意図を読み取り話し合う。	ワークシート分析
	6			第1回考査		
		我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 古典の世界に親しみ、古典を読むために必要な文語の決まりを理解している。	我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 古典の世界に親しみ、古典を読むために必要な文語の決まりを理解する。	漢文入門 「故事成語」	・訓読の決まりを理解する。 ・漢文の読解を通して、故事成語の由来を理解する。	行動の観察
	7	作品や文章の成立した背景を踏まえ、内容の解釈を深めている。	文章の成立した背景を踏まえ、作品の解釈を深める。	伊勢物語 「芥川」	・語句の意味や文法を理解し、登場人物の関係や時代背景を的確に読み取る。歌に込められた登場人物の思いを捉える。	行動の観察
	8	作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。	作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める。	思想 「雑説」	・漢文の語句や句法を的確に理解し、作者がこの話を通して主張していることを読み取り、それについて自分の考えを持つ。	行動の観察
	9			第2回考査		
		作品や文章に表れているものの見方、感じ方考え方を捉え、内容を解釈している。	文章に表れているものの見方、感じ方考え方を捉え、内容を解釈する。	史伝 「臥薪嘗胆」	・漢文の読解を通して、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を理解する。	行動の観察

学期	月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
後期	10	我が国の文化と、外国の文化との関係について理解している。 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。	我が国の文化と、外国の文化との関係について理解する。 表現の仕方、表現の特色について評価する。	唐詩  「夢十夜」 夏目漱石	〈言語活動〉 基本的な漢詩のきまりを理解し、作者のものの見方、感じ方、考え方がどのように表現されているか話し合う。  ・物語展開、独特な作品の世界を味わい、小説における表現の効果について考察する。	ワークシートの分析  行動の観察
	11	文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 異なる時代に成立した作品を読み比べ、それらを比較して論じたり批評している。	表現の仕方、表現の特色について評価する。 異なる時代に成立した随筆を読み比べ、論じたり批評したりする。	平家物語 「木曾の最期」  「徒然草」 「枕草子」	・軍記物語に見られる表現の特色を見つけ、どのような効果があるか考察する。  ・それぞれの作者のものの見方や感じ方を読み取り、それらについて批評し合う。	行動の観察  行動の観察
	12			第3回考查		
	1	作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、考え方を深めている。	作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、考え方を深める。	「論語」 「孟子」	・漢文の読解を通して、古人の主張を理解し、自分の考え方や生き方について考え話し合う。	行動の観察
	2					
	3	作品の成立した背景や他の作品との関連を踏まえ、内容の解釈をしている。	作品の成立した背景や他の作品との関連を踏まえ、内容の解釈をする。	和歌  第4回考查	〈言語活動〉 和歌をグループごとに研究し、その読みや特色について考察したことを話し合い、発表する。	ワークシートの分析

### 3 評価の観点

知識・技能	<p>(1) 言葉の特徴や使い方に關する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解すること。イ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。ウ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。エ 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解すること。オ 本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解すること。</p> <p>(2) 我が国の言語文化に關する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との關係について理解すること。イ 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。エ 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。オ 言文一致体や和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深めること。カ 我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めること。</p>
思考・判断・表現	<p>【書くこと】(1) 書くことに關する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすること。イ 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫すること。</p> <p>【読むこと】ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの關係を踏まえ、内容の解釈を深めること。 オ 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつこと。</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>

### 4 評価の方法

評価規準に従い、小テストや定期考査の結果、提出物の在り方、授業中の姿勢などを鑑み、総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

「言語文化」の授業を通して、我が国特有の表現方法に親しみましょう。文章を読むなかで触れる言葉や考え方が、日常生活の様々な知識や価値観につながっていることを意識できるようにしましょう。そして、より学問を深めていってこれればと思います。